

CONTENTS

- 2/3 情勢・希望の海を守ろう
- 4/5 首都圏の取り組み
- 政府交渉
- 第4回オンラインセミナー
- 6/7 交流広場
- 関西の取り組み
- わんさか通信★ジュゴンのわ



ジュゴン保護キャンペーンセンター会員の皆様、ご支援頂いている皆様に新春のお慶びを申し上げます。昨年は「月桃」歌碑建立事業にご協力頂き、真にありがとうございました。また、入院中もご心配と励ましを頂き、ありがとうございました。お陰さまで体調も少しずつ回復し、4月の政府交渉とアースデイを楽しみにしております。

2023・迎春 年頭のご挨拶

しかしこの間に、憲法の平和主義も国民主権も無視され南西諸島の自衛隊基地化とミサイル配備が強行されました。一方、安倍元総理の国葬問題や国防費の増税問題で岸田内閣の支持率も下がっていました。しかしそれでも日米軍事同盟の横暴は止められないでいます。そこで、この危機的状況を打開するためにまずやるべきことは、日本の天皇制国家の歴史修正主義を正すことだと考えます。そして、2月11日の「建国記念の日」の嘘を正すことです。何故なら「神武」とは龍宮神ジュゴンを指す言葉であり、八咫鳥とは龍宮神信仰の象徴三巴紋を謬魔化した物だからです。

日本は「ポツダム宣言」を受諾した際、皇国史観の嘘や教育勅語の廃止を約束したはずでした。その上で、龍宮神信仰同様の憲法9条で不戦を誓ったはずでした。また、戦後の世論調査で天皇制存続の声が圧倒的に多かったことから、平和のための象徴天皇制を憲法で謳ったはずでした。ところが昭和天皇と米国との密約で国体護持の約束がなされ、岸から安倍晋三に至る歴史修正主義の復活が許され、象徴天皇制も戦前同様となり、9条も国民主権も無視される日本になってしまいました。

「外交、防衛は国の専権事項」の言説は、米国が自国の利益を優先し、ポツダム宣言の理念に反して皇国史観復活を許したことを意味します。そこで、この難局を解決できるのは「SDCCしかない」と考える次第です。何故なら龍宮神ジュゴンを祀る祭りが、今も全国各地で行われているからです。神社や祭りを飾る「三巴紋」は龍宮神信仰の象徴であり、山車、山鉾、曳山などの「山」も龍宮神信仰の拠点を表す字だからです。そして三好龍孝さんご指摘のように龍宮神信仰の強い地域から出た白鳥、幣原、吉田の3人によって、憲法9条が誕生したことが確認できるからです。つまり、これらの真実を国内外に周知させることが辺野古のジュゴンと人類の未来を救う唯一の道ですから、皆さんで頑張ってください。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



久しぶりのイベントで賑わった大阪自然史博物館のフェスタ（7面）。



1/4 魂魄の塔前の「戦没者遺骨の尊厳を守る集会」で歌う海勢頭代表（写真提供：渡瀬夏彦）。

情 勢（事務局）

命どう宝、第2の沖縄戦は許しません！

～Hope Spot（希望の海）を守りましょう～



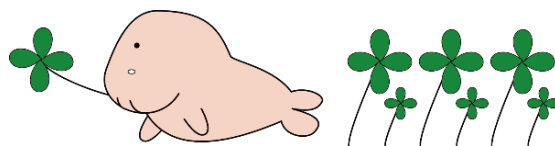
＜軍拡・原発推進の岸田政権＞

岸田内閣は去る12月の臨時国会閉会後、「専守防衛」や「原発新設」など根幹政策を一気に転換しました。12月16日「他国領域のミサイル基地などを破壊する敵基地攻撃能力の保有や長射程ミサイルの増強」を明記した安保関連3文書を閣議決定し「専守防衛」を投げ捨てました。22日には「原発新設」などの政策を取りまとめた、通常国会に関連法案提出を考えています。福島原発被災者の思いを踏みにじるものです。23日には過去最大の防衛費6.8兆円を含む一般会計予算案11.4兆円を閣議決定。防衛相は「詳細は答えられない」と記者会見で無責任な対応。元海上自衛隊艦隊司令官は「身の丈を超えている」と批判しています。これらはすべて岸田首相がバイデン大統領（1月14日会談）への土産にするため、5月広島サミットに向けて政権の延命を狙っているのです。

＜沖縄から日本がよく見える＞

1月12日、日米外務・防衛閣僚会議（2+2）で敵基地攻撃能力の効果的運用に向けて「日米間の協力を深化させる」ことを確認しました。「盾（自衛隊）と鉾（米軍）」とする日米安保条約が、国会審議や国民的議論抜きに、閣議決定と首脳会談で、自衛隊が先制攻撃できる軍事同盟に変えようとしています。すでに沖縄では戦争準備のための「日米協力の深

化」が進められています。陸上自衛隊那覇駐屯地の第15旅団を師団に増強するほか、ミサイル攻撃に耐えられるよう同旅団司令部を地下化することも検討しています。昨年11月、沖縄など琉球弧では日米共同統合演習で民間船を使った戦闘車両の輸送や、沖縄県要請を無視して、公道で武器を携帯した部隊移動を強行しています。台湾に近い与那国島の自衛隊駐屯地では米軍が共同訓練しています。県民の怒りを背景に、石垣市議会では野党提案の意見書「自ら戦争状態を引き起こす長射程ミサイルを配備することは容認できない」が、中間派を巻き込んで採択されています（12月19日）。辺野古大浦湾の新基地建設は沖縄県の設計変更不承認で行き詰まっています。市民団体が米連邦議会軍事委員会に送った「軟弱地盤の実態を伝える書簡」が米国内で賛同が広がっています。戦争のための海ではなく、平和のための海に。生物多様性豊かな辺野古大浦湾、Hope Spotを守りましょう。オール沖縄は辺野古新基地建設断念を求める国会請願署名を始めました（3月17日締め切り）。地域で広げて、成功させましょう。



温暖化対策は国の政治姿勢を表す～気候変動条約COP27

気候変動枠組み条約会議での議論は各国の政治姿勢を照らし出します。22年11月に開かれた第27回締約国会議（COP27）の課題は、前年のCOP26で決まった「石炭火力発電の段階的削減から化石燃料全体の削減」で気温上昇目標を1.5度に抑え込むことでした。25年に世界全体の排出量を頭打ちにする必要があるからです。今年はパキスタンの大洪水やアフリカ東部の干ばつなど世界で貧困と食糧危機が加速しています。ロシアのウクライナ侵略の制裁でヨーロッパ諸国などはエネルギーと生活問題を抱えていました。しかし、欧州連合をはじめラテンアメリカ諸国連合やアメリカなども「対策されていない化石燃料全体の段階的廃止」を支持し、80か国が賛同しました。サウジアラビアなど産油国が反対、化石燃料に固執する日本政府なども同意しませんでした。

世界130か国1800を超えるNGOネットワークから日本政府に、温暖化対策を後退させたとして今年も「化石賞」が送られました。日本政府は化石燃料輸入依存ではなく、再生エネルギーなど国産エネルギーを拡大すべきです。

今回のCOP27では後発開発途上国のための「（温暖化による）損失と損害基金」を今年COP28で設立することを決定。資金の受け手は「途上国の中でも特に脆弱な国々」に。資金を拠出するドナーは先進国だけでなく国際税などを含めるとしました。30年間も後発開発途上国が求めてきた温暖化による被害救済や防災の資金が実現することになります。

（事務局 蛭川義章）



新たな国際的枠組みを反映させた取り組みを！

国際担当からの報告



明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

国際担当として、2023 年 SDCC が、昨年までの活動を踏まえながら、新たな国際的枠組みを反映させた取り組みを展開していくことを提案します。

昨年を振り返って

昨年は、ウクライナ戦争や日米政府が「中国の脅威」を煽り沖縄や日本各地で軍事化を進める中、SDCC はジュゴンを守る、辺野古・大浦湾を守る、やんばるの森を守る活動を行いました。そこで再確認したことが 2 点ありました。一つは、平和がいかにしろ、戦争がいかに人々の暮らしや環境を破壊するかということ。もう一つは、SDCC が環境保護だけでなく、平和や人権というテーマを持って活動する団体であることの重要性です。

新たな国際的枠組み

2022 年 12 月、生物多様性条約は「昆明—モントリオール世界生物多様性枠組み」を採択し、「昆明—モントリオール 2030 世界目標」を掲げました。目標 3 では「2030 年までに陸上、内陸水域、沿岸・海洋の少なくとも 30%、特に生物多様性と生態系機能・サービスにとって特に重要な地域が効果的に保全・管理されていることを確保・可能にすること」を求めています。また 2022 年 7 月には、国連総会が、「クリーンで、健康的、かつ持続可能な環境に対する権利は人権である」との決議を採択しました。2021 年 11 月には国連人権理事会が同様の決議を採択しています。

辺野古・大浦湾とやんばるの森

2023 年 SDCC は、署名、書簡、政府交渉、啓発キャンペーンにおいて、辺野古・大浦湾とやんばるの森への「昆明—モントリオール 2030 世界目標」の適用を主張していけると思います。ミッション・ブルーにより 2019 年に日本初のホープスポットに認定された辺野古・大浦湾沿岸一帯は、軍事基地建設のための場所ではなく、環境保全のための場所であるべきです。同条約が掲げる沿岸・海域の 30 パーセントの保護地域に含まれるべきです。そして新基地建設によってこれまでに破壊された環境は、「2030 年までに、生物多様性と生態系の機能とサービス、生態系の完全性と連結性を高めるために、劣化した陸上、内陸水、沿岸・海洋生態系の少なくとも 30 パーセントの地域が効果的に修復される」とする「目標 2」に従って回復されるべきです。

また、ユネスコ世界自然遺産登録地を含むやんばるの森は、その森全体を、生物多様性条約が掲げる 30%の陸上保護区に含めるべきです。ユネスコ世界遺産地の隣には米軍北部訓練場がありますが、それも 30%の保護地域に含まれるべきであり、訓練場は返還さ

れるべきです。そのためにも、まずは、やんばるの森の生物多様性に影響を与える軍事訓練は直ちに中止されるべきです。

この「昆明—モントリオール世界生物多様性枠組み」を強調することにより、辺野古・大浦湾とやんばるの森を守る SDCC の取り組みをよりグローバルなものにしていくことを提案します。

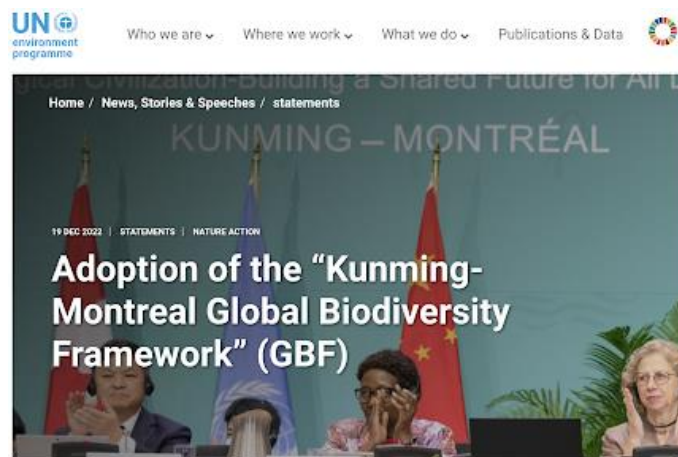
普天間と辺野古・大浦湾

また SDCC は、署名、書簡、政府交渉、啓発キャンペーンにおいて、国連における環境権＝人権の決議を、米海兵隊普天間飛行場と辺野古新基地建設への適用を主張していけると思います。騒音、PFAS、墜落、落下物の危険性を抱える米海兵隊普天間飛行場が、クリーンで、健康的かつ持続可能な環境に対する基地周辺住民の権利を侵害していることは明らかです。普天間飛行場は早期に閉鎖、返還されなければなりません。その第一歩として、普天間飛行場が国連の基地となっている状況を見直させる必要があります。また、辺野古・大浦湾の生物多様性を破壊し、人々の暮らしに悪影響を与える米軍新基地建設は、この国連決議の趣旨を根底から覆すものです。日本政府の「基地建設が環境に影響を与えていない」とする主張は、国連決議が依拠するその科学性を蔑ろにするものです。日米政府は基地建設を直ちに中止し、環境保全に努めるべきです。

私たちは、この国際的な環境権＝人権の決議を最大限に活かして、普天間基地の閉鎖を求める、そして辺野古・大浦湾を守る取り組みをよりグローバルなものにしていくことを提案します。

みなさんのご協力をお願いします。頑張っていきましょう！

(国際担当 吉川秀樹)



「昆明—モントリオール 2030 世界目標」の UNEP ホームページ



首都圏

土砂投入から4年、辺野古新基地やっぱりできない！ つくらせない！リレーアクション



師走も押し迫る 12 月 18 日（日）新宿東口アルタ前広場で、「土砂投入から4年、辺野古新基地やっぱりできない！つくらせない！リレーアクション」の締めくくりとして、各団体のアピールが行われました。リレーアクションは 12 月 3 日～18 日間で各団体が首都圏各地で辺野古新基地建設反対の街頭活動を行い、その内容を5団体が報告しました。沖縄平和市民連絡会の北上田毅さんは、「来年（2023 年）には設計変更申請不承認の最高裁の最終判決が出る。どんな結果であろうと玉城知事をしっかりと支えて、何としても辺野古新基地は造らせないという事を、沖縄県民としてまた全国の支援者の総力として取り組んでいきましょう！」と訴えました。その後年末までにぎわう新宿駅周辺で約 120 名がデモに参加し、「辺野古新基地建設反対！」

「軟弱地盤に基地はできない！」とシュプレヒコールを上げ、行きかう人々に訴えました。

（首都圏 小安深幸）



新宿をデモ行進しました



軟弱地盤、米軍廃棄物問題について政府交渉で追及！

11 月 25 日（金）衆議院第一議員会館会議室にて、防衛省、環境省、外務省との交渉を行いました。交渉には、沖縄選出の赤嶺政賢衆議院議員と伊波洋一参議院議員が同席し、国会論議を踏まえたやり取りが行われました。

初めに行われた防衛省交渉では、冒頭岸田総理大臣あての要請署名 2,780 筆（内オンライン 334 筆）を提出しました。交渉では、市民団体が、9 月 7 日に米国連邦議会軍事委員会 32 名の議員宛に送付した「辺野古基地建設中止と普天間飛行場の閉鎖を求める書簡」に基づき、「軟弱地盤について国防総省に、いつ、どのように伝えたのか？」を重点に追及しました。

防衛省は、「書簡については報道で承知している」「米側との外交上の個々のやり取りは答えられない」と回答を拒みました。

世界自然遺産登録後の米軍の廃棄物処理についても追及し、「令和元年から令和3年 11 月分までの米軍廃棄物の処理実績について環境省に報告した」と回答しました。これは世界自然遺産推薦の際に、「危険物はすべて除去した」と虚偽報告していたことが明らかになりました。

また、赤嶺政賢議員の追及に、世界自然遺産登録地の「空域」が日本に返還されていないことも認めました。

環境省・外務省交渉では、世界自然遺産登録の「日米合意文書」が公式文書か否かを追求しました。環境省は、「日米合同委員会での議論は公表できないが、19 年の「自然及び文化資源の統合的管理計画」については公表できるように調

整中」と前回交渉と同様の回答に終始しました。

伊波洋一議員から「JEGS（日本環境管理基準）は国際基準だから米国は守らなければならない」と追及しました。

また、防衛省が米軍廃棄物の処理実績を環境省に報告していたことに関して、「防衛省から報告はあったが、世界遺産センターや IUCN に報告する必要があるとは思っていない」と開き直っていました。自然遺産推薦書には「土地汚染調査や廃棄物処理を行い、必要な支障除去措置を完了した」と記載されていて、いまだに米軍廃棄物処理が行われていることは隠蔽したいのでしょう。

ジュゴンの棲むやんばる地域を守るために引き続き政府を追及していきます！（首都圏 三村昭彦）



防衛省交渉

報 告



第4回オンラインセミナー 「PFAS 汚染が問うているもの」



1月22日、環境学（水汚染、廃棄物処理など）がご専門の桜井国俊さん（沖縄大学名誉教授、沖縄環境ネットワーク世話人、有機フッ素化合物から市民の生命を守る連絡会共同代表）を講師にお迎えして、沖縄のPFAS水質汚染の実態、行政や市民の取り組みなどについてお話を伺いました。

PFASとは、PFOA、PFOSなど有機フッ素化合物の総称で、自然界や体内で分解されにくく蓄積されやすい特徴があります。腎臓がん、精巣がん、甲状腺疾患など六つの病気との関連が認められ、沖縄の低出生体重児の出生率が全国一なのは、PFASが原因の一つとされています。

沖縄ではじめてPFAS汚染が新聞報道されたのは2016年北谷浄水場の水源大工廻（だくじゃく）川。嘉手納基地が汚染源と思われるが、米軍は県による立ち入り調査も浄化も拒否しています。2020年普天間基地からPFASを含む泡消火剤が大量流出した際も、まともな調査はできませんでした。原因究明ができないのは、日本に立ち入り調査権のない日米地位協定が

障害となっているからです。

沖縄のPFAS汚染の原因は軍事基地ですが、日本の米軍基地の70%が沖縄島に集中しています。桜井さんは“矛盾を沖縄にしわ寄せし、日本政府と本土に暮らし99%の国民のほとんどが知らん振りを決め込んでいること—これこそが構造的差別!!”とおっしゃっています。PFAS汚染も南西諸島の軍事要塞化も他人ごとではありません。戦争の危機が迫っている現状を変えるために、全国で環境・平和を守る声を上げましょう。

（関西 山根富貴子）



沖縄 PFAS 市民連絡会の院内集会と政府ヒアリング

11月25日開催された院内集会に国会議員・秘書32人、報道関係16社、関係者52人が参加する注目の集会となりました。沖縄大学名誉教授の桜井国俊共同代表から、昨年6、7月に沖縄6市町村で行ったPFAS（有機フッ素化合物）による体内汚染などの血中濃度測定とその分析結果が報告されました。環境省が行った全国調査（2021年）と比較して、PFOSが3.1倍、PFOAが3倍。米軍基地周辺地域が高く、「水道水を飲む世帯」が「浄水器設置や飲料水購入世帯」より血中濃度が高い結果となっています。血液検査した387人のうち27人が健康に影響ある濃度を上回りました。PFASは水や油をはく特性を持ち、かつては焦げ付かない調理器具や防水の衣類など幅広い用途に使われていましたが、癌などの健康被害との関連が指摘され、欧米を中心に製造や使用の規制が進められてきました。

沖縄では2016年に嘉手納基地周辺の北谷浄水場（中南部の7市町村45万人に給水）の汚染が県の検査で見つかりました。20年に普天間基地からPFOS泡消火剤が大量に流出。21年に同基地が消火訓練施設のPFAS汚染水を普天間第2小学校に隣接する水路を使って放出していました。そのPFASが在日アメリカ軍の基地周辺から相次いで検出され、住民の不安が高まっています。今年1月、青森県の三沢基地で、5月に神奈川県横須賀基地で、9月には厚木基地内でPFASの泡消火剤

の流出が検出されています。沖縄PFAS市民連絡会は交渉で①米国環境保護局（EPA）の指針で規制の立法化を②国の責任で調査を③汚染源が疑われる米軍基地の立ち入り調査と情報公開を求めました。厚労省は水質基準の見直しについて検討する外部有識者会議を来年1月に開くことを明らかにしましたが、防衛省は在日米軍基地の取り扱いについて今後どう整理するか検討すると日米地位協定を盾に曖昧な対応に終始しました。命と健康を守る全国的な課題になっています。

（事務局 蛭川義章）

*ニュース2022年5月号（VOL.122）2面

「オアフ島市民の勝利」をあわせて参照してください。



交流広場

埼玉県在住、沖縄出身の山野さんは、「沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック」の一員として活動しています。地元埼玉では「島ぐるみ会議と埼玉を結ぶ会」を仲間とともに立ち上げ、辺野古新基地建設に抗い続けています。常に琉球・うちなんちゅの視点から、行動し発信しています。

ふるさとの海にも陸にも基地はいらない！

2022年12月16日、安保関連三文書が閣議決定された。沖縄に対しさらなる基地の押し付け。細る平和憲法はついに沖縄で適用されることはなかったというべきか。

辺野古新基地建設を強行しながら日本政府は一方で台湾有事をあり、琉球弧の島々に自衛隊基地建設も強引に進め要塞化を企む。住民の分断を招きながらの強引な軍拡はとどまるところがない。

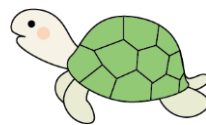


新宿駅アルタ前での署名活動

藻場を奪われ棲み処を追われたジュゴンは今どこに。ウミガメは次の世代を残せているのだろうか。生き埋めのサンゴと共生の小さな生き物たちは生きながらえているだろうか。女性たちの浜下りの楽しみもアダンの茂みも白く輝く砂浜も…人為ですべてが奪われ悔しい限り。何がSDGSだと言いたい。

与那国島では「そのけ戦車が通る」とばかり、銃砲剥き出しの戦車が町中の生活道路を走行し、監視の住民らにその姿を見せつけた。地上戦を彷彿させるこの異様な光景を島外の私たちに想像できるだろうか。日本国民全員がこの異様な行動の意味するものを今一度、立ち止まって考えてみる必要があるように思う。

そしてウクライナの惨状を見よ！である。日々報道されるウクライナはほんの70数年前の沖縄の地上戦と重なる。辺野古ゲート前で座り込む島袋文子さんは、地上戦の体験を「血の混じる泥水を飲んで生き延びた」と話す。具志堅隆松さんは、埋もれたままの戦没者を故郷へ送り届けたいが為、ガマフヤーとして地道に長い年月を奮闘されている。その具志堅さんは、1月4日「魂魄の塔」前の抗議集会で「私たちが新たな戦没者になろうとしている」と話されたという。再びの戦場をつくってはならない。私たちの課題である。
(埼玉県在住 山野澄子)



⑦んさか通信★ジュゴンの⑦

HOPE SPOT JUMP ～ ホープスポット・ジャンプ ～

2023年スタートしました今年もよろしくお願いします。今年は兎年、今までの積み重ねがピョーンと跳ねて成果に現れますように！

沖縄に通称「うさぎ島」と呼ばれている小さな無人島があります。石垣島からフェリーで40分、竹富町の嘉弥真島(かやまじま)に約450匹の野ウサギが生息しているそうです。

観光ツアーで訪れる事ができ兎年の今年は「癒しのウサギ島」とPRに力を入れているとの事です。

さて、一足早く沖縄に桜の季節が訪れました。濃いピンクの寒緋桜(カンヒ桜)が咲き始めています。そしてサトウキビの収穫期到来です、甘いお砂糖がいっぱい製糖できますように。
(沖縄 小平裕美)



ピョーンと飛躍の年になるといいですね。

花を開き始めた寒緋桜



報告

大阪自然史フェスティバルに参加しました

11月19日(土)20日(日)の両日、大阪の長居公園内にある大阪市立自然史博物館での、「大阪自然史フェスティバル」にブース参加しました。今回は、コロナ禍直前の2019年11月でしたから、3年ぶりの開催・参加です。

今回のSDCCブースは、1階アトリウムの吹き抜けに展示された、漂着クジラの骨格標本の真下。すごい迫力です。

ジュゴンクイズは子供たちに大人気。展示を見ながら「ここに書いてあるよ!」「ジュゴンと象の祖先は一緒なんだ。へえ〜」などワイワイ言いながら、楽しみながらジュゴンとジュゴンが生きる環境について学んでいました。

宮城アキノさん提供の、やんばるの生き物たちの写真も展示。北谷演習場返還地に今も大量の軍事廃棄物が放置されており、米軍も日本政府も撤去のための取り組みを、事実上放棄している問題をアピールしました。

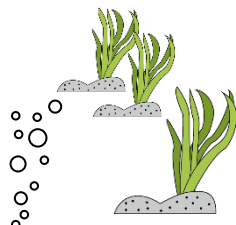
この事実を世界自然遺産を監視する国際NGO(World Heritage Watch)に知らせ、その年次報告書に、アキノさんの調査をもとにしたレポートが全文掲載されたこと、これをもとに米国議会や政府への働きかけを今後強めていくことを展示で参加者に知らせました。

署名とグッズ販売も好調で、署名は二日間で470筆集まりました。

3年ぶりですがSDCCを覚えてくれていた方もおられ「その後ジュゴンと辺野古はどうなってる?」と聞いてくれる方もいて、展示を示しながら説明をしました。対話を大切に、運動を広げていきたいです。(関西 松島洋介)



大きなクジラの骨格標本の真下というアピール力抜群の場所ですブースを出させて戴きました。



「サンマデモクラシー

— 復帰前の沖縄でオバーが起こしたビッグウェーブ」

山里孫存著 (出版: イースト・プレス)



1963年、アメリカ統治下の沖縄。祖国復帰を願う人々が、日本の味として食べていたサンマ。このサンマにアメリカが不当に税を課していた! 「なんでこんなにサンマが高い? ガッティンナラン!」

怒れる魚屋のオバーが裁判を起こす。「サンマ裁判」は、いつしか沖縄全土を巻き込む民主主義をめぐる闘いとなっていく。

— 本の帯の紹介文より

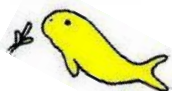
サンマとウシ、ラッパとカメが登場して、ナンダナンダ、民主主義って何だ! 米国占領統治下の激動の時代を駆け抜けた伝説の人たち、それに連なる人々。世の中は動いていく。20%もの不当課税に対し、玉城ウシさんがキャラウエ

イ高等弁務官に闘いを挑んだ「サンマ裁判」。日本から輸入の安くて、おいしくて、栄養価の高い大衆魚サンマは食卓で重宝されていた。ウシさんの「サンマ裁判」に呼応して、生活を守るために立ち上がったお母さんたち。「サンマ値上げ反対」とプラカードを掲げてデモをした。

さあ、サンマ裁判はどうなったか。「サンマを守る」闘いが「自治権を守る」闘いへと大きくなっていく。今、日本もアメリカも民主主義を標榜しているけれど、危ういものだ。権力にはいつも目を光らせていないといけない。民主主義を本物にするには、1人1人の努力が必要だ。憲法にもあるように、民主主義にも「不断の努力」が必要なのだ。

さあ、今年もがんばろう!

(関西 池側恵美子)





INFORMATION



<全国・首都圏>

- ・ 2/18(土) 与那国島を戦場にするな！2.18 緊急集会
14:00～ 渋谷区勤労福祉会館・第1 洋室
主催：一坪反戦地主会関東ブロック
- ・ 3/26(日) SDCC 総会(オンライン)
14 時～15 時 30 分 総会参加希望者は info@sdcc.jp
へお名前と「総会参加希望」と明記して申し込んでください。
- ・ 4/14(金) 対政府交渉 防衛省・環境省
- ・ 4/15(土)4/16(日) アースデイ TOKYO 代々木公園

《 今後のスケジュール 》

<関西>

- ・ 2/12 (日) 総がかり KANSAI 集会
軍拡・改憲より暮らしと平和を 14:00～ 大阪市中央公会堂
- ・ 2/23 (木) じゅごん茶話会 14:00～ SDCC 関西事務所
- ・ 3/18 (土) とめよう！戦争への道・めざそう！アジアの平和
2023 春 関西のつどい
13:30～ エルシアター



首都圏事務所が引っ越しました

新年より、首都圏事務所が引っ越しました。
新住所は以下です。

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 6-38 大曲マンション 201 号
なかま共同事務所
JR 飯田橋駅より徒歩 8 分です。



新しいリーフレットとジュゴンシールを作成します



「パタゴニア基金」の支援を得て、「Hope Spot (希望の海) 守ろう」リーフレットとシールを発行します。
次号 (Vol.127) 3月号では同封できる予定です。お楽しみに。

Hope Spot (希望の海) をまもる署名にご協力をお願いします

11 月 25 日の政府交渉で、Hope Spot (希望の海) を守る署名 2780 筆 (オンライン 334 筆) を提出しました。署名は 4 月の政府交渉に向け引き続き集めます
ネット版の URL は以下です。右の QR コードからもアクセスできます。

<https://bit.ly/3PHj82O>



また今回、オール沖縄の「**辺野古新基地建設の断念を求める請願署名**」を「会員協力者の皆さん」の裏面に印刷しています。
締め切りは 3 月 17 日です。ぜひご協力お願いいたします。

Editor's Note

ウクライナ戦争の解説などで「高橋杉雄」なる防衛省防衛研究所研究員が、連日 TV に出演している。彼は防衛研究所で中国との長期戦を想定した提言を作成した中心人物。「台湾有事となれば、自衛隊の過半が損耗し、台湾は廃墟となるが、中国の台湾上陸は阻止できる。しかしこれは中国との長い戦争の始まりに過ぎないようだ。兵士の命は「損耗」の対象。沖縄の人々は眼中にすらない。こんな輩を追放し、平和なアジアをつくりたい。」 (M)

会費(2000 円)&カンパ振り込み先

郵便振替:

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター

口座番号 00140-9-660199

他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店

口座番号 普通 8159084



SDCC の website
<http://www.sdcc.jp/>
には、左記 QR コードより
アクセスできます

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.126 2023 年 1 月 31 日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
〒162-0815 東京都新宿区新小川町 6-38
大曲マンション 201 号 なかま共同事務所内 (連絡は以下のメール)
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
(関西事務所) 〒534-0025 大阪市都島区片町 2 丁目 9 番 21 号京橋ベース
302 号

ちゃんぶるニュース購読会員募集中です。年会費 2000 円で年 6 回ニュースをお届けします
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに！